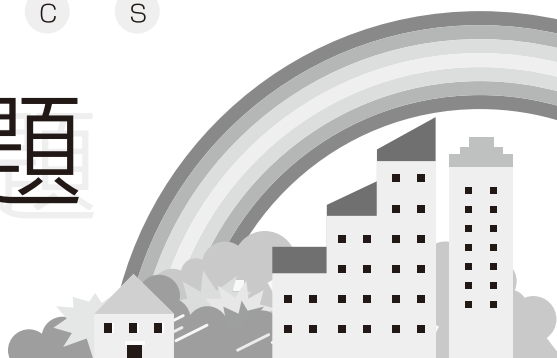


# まちの話題



5月22日(水)

## 幼い命を守りたい!園児向け救命胴衣寄贈

仙台市の東日本大震災復興支援グループ「きぼう」(浅見健一代表)から、津波被害から園児を守ってほしいと、高浜ひかり幼稚園に子ども用救命胴衣30着が贈られました。

浅見さんや寄贈の橋渡しをした高浜市の防災士の松本洋美さんは、「この取り組みがもっと広がってほしい」と話していました。贈られた救命胴衣を園児たちは早速試着し、着心地を確かめていました。



5月23日(木)

## 交通事故にあわないために! 学ぼう交通ルール

港小学校の1~3年生の児童を対象に交通安全教室が開催されました。1・2年生は横断歩道の渡り方、3年生は自転車の乗り方を交通指導員の皆さんに教えてもらいました。

ダンプカーを使った自転車の巻き込みや人形を使った自動車の急ブレーキの実演では、児童たちも怖さを実感していました。



5月26日(日)

## どんな生き物がすんでいるかな? 高浜の海を調査

高浜の海にすむ生き物の生態系などを学ぶことで、海に親しみ、海を大切にすることを育てたいと、市内の親子を対象に、芳川町沿岸の干潟で、渡し場かもめ会による「海の生き物調査」が行われました。各自が採集したカニやエビ、しじみなどの生き物について、国土交通省の職員から解説を聞くと、「干潟には、思ったよりもたくさんの生き物がいて驚いた」との声があがっていました。もっと多くの生き物がすむことができるように、みんなで美しい海にしていきたいですね。

